

最終処分廃棄物削減活動

主な廃棄物

ニチレイグループの事業所で排出される廃棄物にはどのようなものがあるでしょうか？
食品工場から出てくる主なゴミは、製品にならなかった肉や野菜などの原材料、排水を浄化する過程で出てくる汚泥、食材を梱包している段ボールなどの包装資材です。一方、冷蔵倉庫

からは、お客様からお預かりした荷物と一緒に入ってきて、出て行くときには不要となるもの（段ボールなどの梱包資材、荷崩れ防止のためのビニールなど）や輸配送に使用するパレットが破損したときの廃材などです。

取り組みと目標

ニチレイグループは、主要事業（廃棄物量も多い）の食品事業および低温物流事業の事業所から排出される廃棄物（ニチレイグループの廃棄物の大部分を占める）のうち、最終的に埋め立て処分される量（最終処分量）の削減をグループ目標に掲げ取り組んでいます。また、各事業の状況を比較すると

食品事業（食品工場など）から排出される廃

目標（2010年度まで）

年 度	最終処分量(トン)	1999年度に対する削減率(%)
1999 基準年	13,970	
2003	9,779	30 食品40、低温10
2010	4,191	70

最終処分量 = 直接埋立て処分量 + 外部焼却量（但し主目的が熱利用や焼却灰の有効利用である場合は含まない）
最終処分量を削減する為には、発生量抑制、事業所内減量、事業所外排出物のリサイクル（熱利用等への利用含む）が必要になります。

棄物量は低温物流事業（冷蔵倉庫など）の約3倍である。

1事業所当たりの排出量は、食品工場などの製造事業所の方がはるかに大きく、リサイクルにも取り組みやすい。

という特徴があることから、食品事業での達成目標をより高くおいています。

また、各事業とも排出量の多い3種類の廃棄物を重点廃棄物に設定し、取り組んでいます。

実績（2001年度末時点）

2001年度末時点での対象事業所における廃棄物の最終処分量は1999年度比11.9%削減となり2003年度末目標の30%削減に対しての目標達成率は39.7%となりました。事業別内

訳では、食品事業では30.8%削減となり、既に77.0%の達成率となりましたが、低温物流事業では26.8%の増加となりました。

食品工場などでの取り組み

落下などにより発生する生ゴミの廃棄量の削減や廃水処理方法の改善による廃水処理汚泥の削減、分別の徹底、処理委託業者の見直

しなどによるリサイクルの推進をすすめました。
P24以降のISO認証取得事業所の取り組み参照

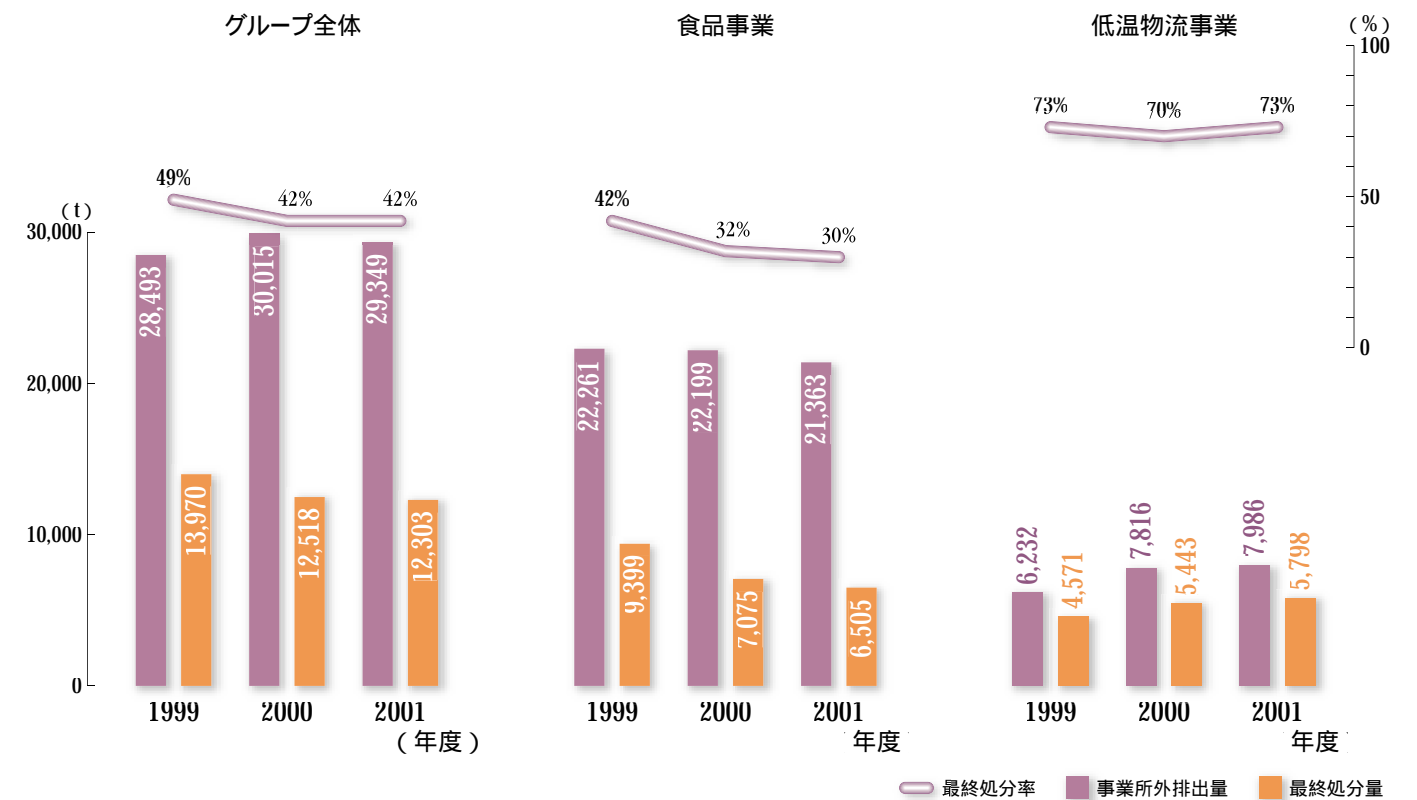
冷蔵倉庫などでの取り組み

排出量の大きい木屑、生ゴミ、紙・段ボール類のリサイクル処理業者への委託、また商品事故防止による預かり商品の廃棄削減などに取り組みました。しかしながら、商品の店舗仕分け作

業の増加による梱包資材（段ボール、プラスチック）の排出増加、焼却炉停止およびパレットのプラスチック化による木屑の排出増加が取り組み効果を上回り最終処分量は増加となりました。

2001年度実績

	最終処分量(トン)	1999年度に対する削減率(%)
グループ全体	12,303	11.9
食品事業	6,505	30.8
低温物流事業	5,798	26.8



廃棄物の処理状況

食品事業

種 類	1999年度		2000年度		2001年度		1999年度比削減率(%)	
	事業所外排出量(トン)	最終処分量(トン)	事業所外排出量(トン)	最終処分量(トン)	事業所外排出量(トン)	最終処分量(トン)	事業所外排出量	最終処分量
生ゴミ	7,984	3,677	8,540	2,168	7,602	1,282	4.8	65.1
紙・段ボール	2,960	1,242	2,728	662	2,874	572	2.9	53.9
汚 泥	7,664	3,031	7,054	2,637	6,090	2,361	20.5	22.1
上記重点廃棄物合計	18,608	7,950	18,322	5,467	16,566	4,215	11.0	47.0
その他	3,653	1,449	3,877	1,608	4,797	2,290	31.3	58.0
全合計	22,261	9,399	22,199	7,075	21,363	6,505	4.0	30.8

低温物流事業

種 類	1999年度		2000年度		2001年度		1999年度比削減率(%)	
	事業所外排出量(トン)	最終処分量(トン)	事業所外排出量(トン)	最終処分量(トン)	事業所外排出量(トン)	最終処分量(トン)	事業所外排出量	最終処分量
木 屑	1,323	573	1,197	615	1,590	801	20.2	39.8
生ゴミ	944	906	1,026	806	913	769	3.3	15.1
紙・段ボール	1,863	1,514	2,801	1,622	2,842	1,968	52.5	30.0
上記重点廃棄物合計	4,130	2,993	5,024	3,043	5,345	3,538	29.4	18.2
その他	2,102	1,578	2,792	2,400	2,641	2,260	25.6	43.2
全合計	6,232	4,571	7,816	5,443	7,986	5,798	28.1	26.8

事業所外排出量は事業所で発生した廃棄物のうち事業所外へ排出されたもの。 リサイクルを実施していると思われるものも確認の取れていないものはリサイクル計上していません。